



2015年度精神看護学セミナー

シンポジウム

あなたは「家族へのケア」をしていますか？

基本的な考え方から、具体的なアプローチまで紹介します

精神病棟で働く看護師さんから、「家族にもっと関わりたいけど、できていない」「家族も含めてのケアが必要だとは思うけども、実際には難しい」という声を聞きます。

今回の精神看護学セミナーでは、あらためて、家族へのケアってなんだろう、私たち看護職は家族に対して何をしたら良いのだろうかということを問うてみたいと思います。

現場で活動されている皆様に多数ご参加頂き、実践に活かせるようなディスカッションをしていきたいと思いますので、皆様お誘い合わせの上、お出かけ下さい。

スタッフ一同お待ちしております。

日時：2016年3月5日（土） 13:30～16:30

場所：福島県立看護学部 8号館（旧看護学部棟）N301 教室

シンポジスト：

■ 畠山 とも子 氏（福島県立医科大学看護学部）

家族ケアとは

■ 田井 雅子 氏（高知県立大学看護学部）

家族エンパワメントモデルとその実践

■ 大森 徹 氏（あさかホスピタル）

精神科急性期病棟に入院となった患者の家族が求めていること

申し込み：2月26日（金）までに、メールまたはFAXにて、佐藤利憲

までご連絡下さい。

E-mail：sato-lab@fmu.ac.jp FAX:024-547-1844

福島県立医科大学看護学部精神看護学担当

大川貴子 加藤郁子 佐藤利憲

田村達弥 有賀優加